

2018年2月8日

公益財団法人 日本英語検定協会

4技能型アカデミック英語能力判定試験

TEAP CBT

2018年度の実施概要について

公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一、所在地：東京都新宿区、以下「英検協会」）は、このたび、4技能型アカデミック英語能力判定試験「TEAP CBT (Computer-Based Test)」の来年度（2018年度）の実施概要を確定しましたので、お知らせいたします。なお末尾に今年度（2017年度）の実績を記載いたしましたので、併せてご参照願います。

【2018年度 TEAP CBTの実施概要】

■ 試験日・申込期間・開催地（予定）

試験日	申込期間	試験形式	開催地（予定）
第1回 6月17日（日）	4月16日（月）～ 5月24日（木）	4技能（RLWS）	11都道府県 北海道、宮城、埼玉、千葉、東京、 神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡
第2回 9月2日（日）	6月25日（月）～ 8月9日（木）		
第3回 10月21日（日）	8月13日（月）～ 9月27日（木）		

※なお開催地は変更の可能性がございます。実際の実施詳細は、随時 TEAP CBTウェブサイト (<http://www.eiken.or.jp/teap/cbt/>) にアップしてまいります。

■ 2018年度からの変更点

- ✓ 試験形式の変更 4技能（RLWS）と2技能（RL）の2パターンでの試験形式を4技能パターンのみとする
- ✓ 開催地の拡大 2都道府県から11都道府県（予定）に拡大する
- ✓ 実施回数の増加 年2回から年3回の実施が増やす

【今後の展望】

英検協会は、去る2017年末、「大学入試英語成績提供システム」に、実用英語技能検定、TEAP、TEAP CBT、IELTSの参加申し込みを行いました。その結果が2018年3月末、大学入試センターから公表される予定です。したがって現時点ではTEAP CBTが選定されるかは定かではありませんが、英検協会では、全国の多くの大学様に幅広くご活用いただけるよう、TEAP CBTの開催地の拡大等に努めてまいります。また、受験者様に与える利便性も追求してまいります。



【2017年度TEAP CBTの実績】

	2017年度	2016年度
年間志願者数	696人	509人

※2016年度は年1回の実施  
2017年度は年2回の実施

2016年度から上智大学様にご採用いただきスタートしましたTEAP CBTですが、2017年度に入り、推薦・AO入試を含めまして延べ15の国公立・私立大学でご採用いただきました。これは先にTEAPを導入し、その品質の高さが大学様に評価され、TEAP CBTの採用につながっているものであり、今後とも拡大していくものと推察しています。（英検協会調べ）